

道自治体問題研究所が発足

住民の声 行政に発信



講演に拍手を送る参加者。24日、札幌市

待ちに待ったセンター 09.10.25 発足

者を含め各分野の知恵を集め、語り合い、情報を発信し、具体的な政策提言を行っていくことにしています。

「上からの合併」や、いわゆる「三位一体改革」による自治体財政の悪化、夕張市の財政破たんなどを通じて、地方自治が住民にとって身近で切実な問題になったことが設立のきっかけになり、念願だった全道的センターがついにスタートしたものです。

研究所以事長の岡田知弘氏は、「農林水産業など地域産業が壊され、さまざまな矛盾が集中している北海道こそ、これまでの『構造改革』路線に対抗するフロンティア的な研究、実践が生まれる」と述べ、北海道での取り組みの前進に期待を寄せました。

特別報告したのは、松岡市郎・東川町長と高畑秀美・西興部村長、菊池一春・訓子府町長。

松岡氏は福祉と自然を生かした「日本一の町づくり」という大きな夢へ

研究所以事長からのニュースレターで会員への情報の提供、交流を行います。個人会員の場合、年間会費が5000円となります。

連絡先 同研究所011-837-8261、ファクス011-837-8262

おもな役員と活動内容

総会で選ばれた、北海道地域・自治体問題研究所の主な役員は次の通り。(敬称略)

理事長・小田清(北海道大学)、副理事長・神沼公三郎(北海道大学)、河合博司(酪農学園大学)、河合博司(酪農学園大学)

研究会で選ばれた、北海道地域・自治体問題研究所の主な役員は次の通り。(敬称略)

理事長・小田清(北海道大学)、副理事長・神沼公三郎(北海道大学)、河合博司(酪農学園大学)、河合博司(酪農学園大学)

研究会で選ばれた、北海道地域・自治体問題研究所の主な役員は次の通り。(敬称略)

理事長・小田清(北海道大学)、副理事長・神沼公三郎(北海道大学)、河合博司(酪農学園大学)、河合博司(酪農学園大学)